

国立大学法人鳴門教育大学の平成 18 年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

鳴門教育大学は、学長のリーダーシップの下、教職大学院設置（平成 19 年度申請）に向けて全学的に取り組んでおり、平成 18 年度はその体制づくりに着手している。

さらに、教育大学に課せられた厳しい環境の下、財政の健全化、経費の節約、科学研究費補助金を中心とする外部資金の獲得等による自己収入の増加策に取り組み、一定の成果を上げている。

また、自己点検・評価による教育研究費の配分、教授個人へのインセンティブの付与等、他の多くの大学に先駆けて実施していることは評価できる。

この他、業務運営については、専任の事務局長を廃止するとともに、事務組織のフラット化、組織編成の柔軟化を図るため、平成 19 年度からチーム制を導入することとしている。なお、事務組織の見直しの効果については、引き続き検証していくことが期待される。

教育研究の質の向上については、ピア・カウンセリング、表彰制度、教員就職支援チームアドバイザー、大学院生就職支援アドバイザーによる就職支援等、全学をあげて学生の様々な要望に応えようとする体制が整備されている。また、女性教員の採用に関して「ポジティブ・アクション」を制定し、女性教員の割合の増加に努めており、今後の成果が期待される。

2 項目別評価

・業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化

運営体制の改善

教育研究組織の見直し

人事の適正化

事務等の効率化・合理化

平成 18 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

運営体制の充実を図るため、常勤理事 3 名体制とし、新たに学外者 1 名を常勤理事として採用されている。

新たに学長の指示する重要事項をサポートする学長特別補佐制度を導入し、学外者 1 名が学長特別補佐（広報担当）に任用されている。

事務組織を見直し、専任の事務局長制を廃止するとともに、事務組織のフラット化、組織編成の柔軟化及び組織変更の迅速化を図るため、平成 19 年度からチーム制を導入することとしている。

教員人事の活性化と流動性を図るため、任期制を導入し、4 名の教員を任期を付して採用している。

時限的に設置された小学校英語教育センター及び教員教育国際協力センターの評価

について、業績評価の具体的方策を検討するとともに、平成 19 年度の評価結果を踏まえて、施設の存廃を決定する体制整備が行われている。

業績評価及び評価を反映する給与システムを構築し、教授職に対し評価結果を給与に反映させている。なお、平成 19 年度からは准教授等へも適用することとしている。

監事からの指摘に対して、教職大学院構想と関連して、新たな教員組織及び教育組織改組計画を検討し具体案を策定するなど、意見を大学運営に反映させている。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 10 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善

外部研究資金その他の自己収入の増加

経費の抑制

資産の運用管理の改善

平成 18 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

「心理・教育相談室」(学外者を対象としたカウンセリング・ルーム)の相談業務の有料化が図られている。

平成 17 年度に引き続き、独立行政法人国際協力機構(JICA)から「アフガニスタン国教師教育強化プロジェクト」(2年次)を民間のコンサルタント会社と共同で受託し約 3,000 万円の外部資金を得ている。これらにより外部資金比率は、3.5 % (対前年度比 0.7 % 増)となっている。

財務分析を行い、運営費交付金比率、人件費比率、外部資金比率、自己収入比率、教育経費比率、研究経費比率等のデータを活用し、業務外部委託による人件費の削減、公募型事業等の外部資金の獲得等に努めている。

コスト分析を行い、収入を伴う事業等のコスト率(収入に対する支出の割合)が 100 %を超えるものについて、見直し・改善が行われている。

中期計画における総人件費改革を踏まえた人件費削減目標の達成に向けて、着実に人件費削減が行われている。今後とも、中期目標・中期計画の達成に向け、教育研究の質の確保に配慮しつつ、人件費削減の取組を行うことが期待される。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 7 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び情報提供

評価の充実
情報公開等の推進

平成 18 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

教員の教育・研究活動等の業績を評価するために「自己点検・評価実施要領」を制定し、講座及び教員に対し、学長の定める重点目標及び分野別（教育、研究、大学運営、地域貢献）の項目について自己点検・評価並びに業績評価が実施されている。

自己点検・評価の更なる充実を図るため、外部者による教育・研究評価及び優秀教員表彰制度について検討を行い、関係規定が制定されている。

広報活動計画に基づき、大学情報・研究者情報等の英文によるウェブサイトの作成、ウェブサイト上での大学院紹介 DVD の配信、個人情報保護法研修会及び広報担当者研修会の開催、報道機関への情報提供等、広く情報発信されている。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由）年度計画の記載 2 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要事項

施設設備の整備・活用等
安全管理

平成 18 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

施設のマネジメントに関する重要事項の検討結果を踏まえ、抽出したスペースを遠隔教育準備室、戦略的教育研究開発室、教職大学院設置準備室、心理・教育相談室、助教研究室として確保している。

冷暖房期間、設定温度、節電等の省エネルギー対策についての協力依頼を職員・学生に通知・各部屋に掲示するとともに、毎月 1 回以上巡回し、電気の使用量の対前年度比 2.9 % (108,276kw) 減が図られている。

危機管理・リスクマネジメント担当部署ごとに危機管理マニュアル等を策定し、危機管理に対応する体制整備や、全学的・総合的な危機管理体制の確立を図るため「国立大学法人鳴門教育大学危機管理規程」等が制定されている。

鳴門市の協力を得て、毎年、教職員・学生・地域住民と合同で南海・東南海地震による火災の発生を想定して、防災訓練が行われている。また、「地震防災マニュアル」を作成し、学生・教職員に周知されている。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由）年度計画の記載 9 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

・教育研究等の質の向上の状況

評価委員会が平成 18 年度の外形的・客観的進捗状況について確認した結果、下記の事項が注目される。

学部学生、教員及び鳴門市の現職校長等を入れたファカルティ・ディベロップメント (FD) ワークショップが開催されている。

カウンセリングの基礎を学んでいる教育臨床コース (臨床心理分野) の大学院生が、教員の指導の下、学部学生の相談に応じる学生相談制度 (ピア・カウンセリング) が実施されている。

顕著な功績をあげた学生に対する表彰制度が設けられている。

教員就職支援チーフアドバイザー、大学院生就職支援アドバイザーと各講座の教員が連携して、模擬面接・模擬授業等を開催し、指導を行うなどの全学的取組を行い、学生の実践的教育力の向上に努めている。

「研究協力室」では、「科学研究費補助金申請に向けての取り組み」を周知するなど研究推進に努め、「学術研究推進委員会」では、教員の研究環境の現状把握と確保のためのアンケート調査を実施し、研究環境の阻害事項を分析し、具体的な改善方策を学長に提言するなど、研究支援体制が整備されている。

科学研究費補助金の採択件数を増加させるため、私立大学講師や学内講師による説明会を開催し、対前年度比 2 件増、直接経費で約 600 万円の増が図られている。

女性教員の採用に関しては「鳴門教育大学における女性大学教員の割合を引き上げるための積極的改善措置 (ポジティブ・アクション)」を制定し、公募要項に明記し、女性教員の割合増加に努めている。

教員が学校現場等に出向いて、学校教員、児童・生徒、保護者を対象に、講演、授業実践、指導方法や課題解決の指導等を行う「教育支援講師・アドバイザー等派遣事業」が推進されている。登録者は全教員の 75 % (目標値 67.1 %) となっている。

南アフリカ共和国、ラオス人民民主共和国及び大洋州の理数科教員の資質の向上や指導法の改善を図るため、現職の教員を研修員として受け入れている。また、アフガニスタン・イスラム共和国の平和・安定・成長に向けた教育分野の復興に貢献するため、教員を発展途上国に派遣している。

国際学術交流協定校から受け入れる学生及び派遣する学生に対して、留学支援金を支給するため、「鳴門教育大学留学支援金支給要項」が制定されている。

留学生の交流の場であるインターナショナルルームに提案箱を設置し、留学生支援等に活かされている。

大学教員の専門性を生かした授業として、附属小学校では 9 教科を、附属中学校では 5 教科の授業を大学教員が担当し実施している。